

今月のイチオシ



夜行

森見 登美彦(著)
小学館

京都で学生時代を過ごした、私たち六人の仲間。十年前、私たちの前から突然彼女が姿を消した。そして、私たちがそれぞれ旅先で出会ったのは、謎の連作絵画「夜行」という絵だった。旅の夜の怪談に、青春小説、ファンタジーの要素を織り込んだ傑作！



子ども君主論

齋藤 孝(著)
日本図書センター



干したから・・・

森枝 卓士(著)
フレーベル館



縫わんばならん

古川 真人(著)
新潮社



すこやかヨガ

いとう あつこ(著)
日貿出版社

公民館図書室利用時間

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時

村公民館図書室の本を紹介します。
このほかにも、たくさん楽しい本が
皆さんを待っていますので、ぜひご利用
ください。



本とハッピー

はばたけ! 昭利村消防団

「四分団」



第四分団長
高橋 郁裕さん

四分団は入原地区を管轄
しています。現在、21名の
団員が所属しています。
主な活動は、月に2回機
械器具の点検・地域巡回な
ど行なっています。他にも、
子育て保育園や、くりのみ学
園、たけのこ学園といった
管轄地域の施設の避難訓練
にも、利根沼田広域中央消
防署や五分団と協力して参
加しています。
四分団の平均年齢は36歳。
消防団員歴の長い団員も多
く、半数以上が分団長を経
験している事もあり、とて
も地元を熟知しています。
そういった強みを地元地
域の安全面に生かしながら、
団員間でも情報を共有し消
防活動を行っています。

地域包括支援センターだより

実践！介護予防 みんなで楽しくらくらく筋トレ体操！

今月は『川額筋トレ会』を紹介します。

- 場所：川額集落センター
- 日時：毎週(火) 午後1:30～

☆ここが私たちの魅力☆

- 「1、2、3♪」の合図で2曲歌う。童謡や若い頃に流行った歌など、その日の気分で選曲し、みんな揃って声を張り上げて歌う。おぼろ月夜、ふるさと、青い山脈など。歌い終わりは全員の拍手で締める。
- センターの鍵当番は二人一組の交代制。役員だけに頼らないで、みんなで協力することが、サロンが長続きするコツとのこと！
- 筋トレ後のお茶のみも楽しみ。集まっておしゃべりできる場所があることが嬉しいし幸せと話す。料理教室のように、おいしい物の作り方を教えている。

みんなの声

- ・ストレス発散になる・お茶もおやつも各自で用意するので気楽・1回でも休むと筋力が落ちる気がする
- ・肩こりが楽になった・歌うと気持ちいい・みんなに会うと元気になるなど



「気楽に集まれて、たくさん笑える！」と元気な皆さん

地域包括支援センターはサロンを応援しています！

ふるさと昭和 ～歴史を訪ねて～

第58回

糸井九騎と春悦和尚

昭和村ボランティアガイドの会
理事 堤 義樹

大河ドラマ「真田丸」では沼田城、名胡桃城の戦国時代の利根沼田を垣間見ました。

戦国時代について、糸之瀬村誌等に興味深い記述があるので紹介します。一つは糸井九騎と呼ばれた土豪達(土着したさむらい)のことです。

村誌には「今から四百年程前、力のある武将たちが互いに土地を奪い合っていた戦国時代に、糸井に九人の土豪がいた。加藤を名のる者四名、高橋を名のる者三名、小野一名、小泉一名である。」と記し、現在の糸井地区の姓とのつながりを感じさせます。

二つ目は、長慶寺のいわれを記した「惣与本縁記」に「永正年間の頃、阿弥陀堂に長慶春悦という僧が住むようになり、この僧は糸井の高橋氏の九騎の一つに数え、器量に勝れ、学問、武道に秀でていた。永祿年間(一五五八～七〇)に沼田の城主沼田景久が北条氏の軍を迎え討った際に春悦和

尚が出陣したが、糸井の二本木で討ち死にしました。」と、春悦和尚の活躍を記しています。



現在の三本木付近

また、村誌に「上糸井の長慶寺を中心に、北に上内出、南に南内出、西に中内出の地名がみられ、東の方は山をおっています。糸井で最も古くからのいわれを持つと思われる長慶寺のあたりに、片品川に向かつて、かりに武士の屋敷があつたとすれば、後ろに山をおい、三面にとりでを築いて、これを「うちで」と呼んだと考えても決して不自然ではありません。」と記し、上糸井が地形を利用した天然の城であり、領地を守りながら生活していたのではないかと推測しています。

(参考)糸之瀬村誌、利根郡誌、利根沼田歴史民俗事典

「今の自分」

今の会社に入社したのは、学生のとくに専攻していたのが農業だったことと、実家が農業をしているので、少しでもそれに関わる仕事がしたいと思ったからです。

私は、現在前橋市にある野菜苗を生産する会社に勤めています。主な仕事は播種から苗を育てることで、ホームセンターや農家向けの苗など多岐にわたる品目を調整・出荷しています。

社会人になり、農家の人との接客や取引先との電話対応など、言葉遣いやマナーの大切さを痛感しました。もっと積極的に家以外のアルバイトもすればよかったと思いました。

ようやく、仕事にも慣れてきたので、休日は地元の友達と遊んだり、趣味を増やしていきたいと思っています。

◆◆◆◆◆
今回の登場者は、稲垣 裕太さん(22歳・根岸)です。

はっらっ トーク



竹内 淳さん
(22歳・宮貝戸)

次回登場者紹介

僕が紹介するのは、仲間思いの面白い友人です。